筑後北中だより

第８号　令和８年 10 月 23 日
編集責任者　校長

【学校教育目標】　人間尊重の基盤に立ち、進んで学問に励み、心を磨き、体を鍛える生徒の育成
【本年度の重点目標】「わかった・できた」を実感する生徒の育成
【小・中連携目標】　主体的に表現できる児童生徒の育成

R8 文化発表会スローガン

ENSEMBLE
～耀け個性、奏でる調和～

文化発表会



＜このスローガンに込めた思い＞
お互いの違いを認めて協力し、最高の文化発表会をつくりたい！！
『耀く個性』　一人ひとりの個性や魅力をまばゆいほどに発揮してほしい
『奏でる調和』個性や思いを重ね合わせ、美しいハーモニーを創り上げてほしい

10 月 16 日（金）にサザンクス筑後にて、文化発表会のステージ部門を実施しました。午前中は、代表生徒による意見発表とミュージカル鑑賞、午後には合唱コンクールと吹奏楽の演奏が行われました。生徒のみなさんが創り上げたものは、一日ではなしえない価値ある尊いものです。スローガンに込めた思いにもある「お互いを認める」ことで、筑後北中が一つになりました。



合唱は学級の正義につながる

私は、合唱コンクールが一年間で最も好きな行事です。合唱は単に上手に歌えることだけを目標としていません。歌声の強弱、指揮や伴奏等の役割分担、パートリーダーの指示を聞いたり、練習計画を練り直したりして、みんなで一番いいパフォーマンスを発揮するという意識を持つことで、生徒同士の横のつながりが強くなります。

今回の合唱を創り上げるにあたって、学級の仲間を認め、互いの苦手なところをカバーし合うことができた学級が、その後の学校生活、勉強や入試に安心して臨める雰囲気になるに違いありません。今回の合唱を通して、目標に向かってみんなで協力するという「学級の正義」を貫ける筑後北中生徒に成長することを願っています。

暑い夏を超え、成長しました！！

八女地区中学校新人大会

９月４日の八女地区新人陸上大会を皮切りに、暑い夏を超えた新チームとしての大会が始まりました。10 月３日・7 日にはその他の運動部の新人大会が行われ、これまでの練習の成果を夢中になって発揮しました。

事前の部活動壮行会で生徒のみなさんに伝えたことは、**「あこがれられる北中生」「応援される北中生」**であってほしいということです。プレー面だけでなく、礼儀や挨拶、機敏な行動などの**「当たり前のこと」をできること**が、チームそして個人の成長につながります。今回の経験を活かし、来年の夏に向けてさらに努力を続け、より良き北中の原動力となってくれることを期待しています。

＜八女地区新人陸上大会＞
走高跳 1 位 1m29
1500m　2 位 4 分 39 秒 93
110mH　2 位 18 秒 05
1500m　3 位 5 分 55 秒 18

＜筑後地区新人陸上大会＞
走高跳 1 位 1m35
110mH　3 位 18 秒 10

＜八女地区新人大会＞
サッカー部　優勝
女子剣道部　準優勝
女子卓球部　準優勝
男子卓球部　準優勝
女子バスケットボール部　第３位

「よのなかの当たり前」を当たり前にやる。

よのなかを生き抜けるのは、「当たり前」を当たり前にできる人。約束を守る。正直でいる。人に親切にする。いつでもきちんとできるって、じつはすごいことなんだ。

出　典 メシが食える大人になる！ もっとよのなかルールブック
監修者 高濱正伸
出版社 株式会社日本図書センター、2020.9.25



八女地区・筑後地区中学校音楽会

10 月２日（金）と３日（土）の連日にわたり、筑後地区及び八女地区の音楽会が開催され、吹奏楽部が演奏を行いました。これまでの日々の努力の成果を堂々と披露し、多くの聴衆に感動を与えました。

筑後市戦没者追悼式

９月 12 日（土）にサザンクス筑後において、３年生の○○○○さんが「平和宣言」を読み上げました。昨年の修学旅行の際、学年のみんなで作った「平和宣言文」を基に、参加者の前で平和の大切さを未来の世代に受け継いでいく強い決意を述べました。

～戦争によって 命や大切な人や夢を奪われる人をなくすために～